

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報 おおづ 1

January 2019



今月のみどころ

巻頭記事

平成31年 新年のごあいさつ

新春企画 菊池地域4市町
「わがまち自慢」プレゼント

Public relations
OZU TOWN

広報 おおづ 2019 1

発行・編集 ■大津市・総務課
〒869-1292 熊本市東区大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3111 <http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>
※広報のおおづの購読に際しては送料と郵送料がかかります。

UD FONT
易やすく読みまちがえにくい
コンピューターフォントソフト
を採用しています。

clozu-up Ozu-jin

クローズアップ 大津人



歌謡祭の賞状を持つ上野さんと大津町身体障害者福祉会のメンバーの皆さん。
大津町身体障害者福祉会では、さまざまな活動を通して、仲間づくりや情報交換などを行っています。会員は随時募集しています。興味のある人は、役場福祉課障害福祉係までお問い合わせください。



歌で人と人を つなげたい—

うえの
上野スミ子さん (陣内)



12月5日に熊本市植木文化ホールで行われた「第34回熊本県身体障がい者歌謡祭」で最優秀賞を受賞した、大津町身体障害者福祉会の上野スミ子さんにクローズアップする。

小学校6年生のとき、先生から推薦され地元ラジオ番組で「ふるさと」を歌った上野さん。「一人で歌うのはすごく緊張したけど、楽しくてさらに歌に夢中になりました」とほほ笑む。好きが高じて歌謡学校で指導者としての知識を学び、カラオケ教室を開いた。「まず歌うことを楽しむ、それを一番大切にしています。上達していく生徒さんを見るのが私の生きがいの一つですね」と笑みがこぼれる。

大津町身体障害者福祉会の副会長も務める上野さん。大津町身体障害者福祉会は、身体障害のある人が気軽に集える場所を作ろうと、約10年前に結成された。活動は大きく分けて3つ。歌謡祭などを行う文化部、手芸をして作品を福祉祭に出品する女性部、グラウンドゴルフ大会などを行う体育部。「何事も会長や部長任せではなくみんなで協力し合います。ここでの楽しい時間は私に元気をくれますね」と明るく朗らかな上野さん。そんな上野さんや会員の皆さんの人柄を表すかのように、会の雰囲気は温かい。

上野さんは文化部長として、多くの人に歌う楽しさに触れてもらおうと町の歌謡祭を開催し、責任者も務めていた。みんなのおかげで受賞できた今回の最優秀賞、これをきっかけに休止していた町の歌謡祭を再開したいと夢を語る。「障害がある人もない人も、歌を通してみんなで交流して、私たちのことをもっと知ってもらいたい。楽しみながら仲間を増やして、住みやすいまちづくりにつなげていきたいですね」と素敵な笑顔を見せてくれた。澄んだ歌声が町に響き、歌にあわせて笑顔が溢れる。上野さんのその明るさと前向きな気持ち、人と人をつなぐ架け橋になるのだろ。

こづの声

▼広報担当を離れ、また取材先でつながった縁に感謝し、町のため頑張ります。これからも「広報おおづ」ともどもよろしくお祈りします▼今年も皆さんにとつてよい年でありませうように(MVIDEO)

▼ゲーム部の取材で学生に混ざりゲームというカードゲームに挑戦▼ルールは簡単ですが単純な2択の中に悩ましい選択を迫られる場面があり頭をひねらした。シンプルながらも盛り上がるゲームです▼ゲーム部におすすりめく、勝負喜びはもちろんです。負ける悔しさを体験できるのもゲームの良い所です▼ぜひゲーム部を運んで挑戦してみたい(UD)

からいもくん便り

大津町総合情報メール
携帯電話やパソコンのメール機能を活用して、生活に役立つさまざまな情報をお知らせするシステムです。
登録方法: ozutown@gw.ansin-anzen.jpに空メールを送信してください(スマートフォンの場合は件名に任意の1文字「あ」などを入力して送信)。

